

2024年7月異業種交流会

開催日：2024年7月18日（木） 18:00～20:00

会場：かぶらや総本店

参加者：清水堪蔵(49C)、木村謙之(60W)、鶴岡徹雄(44M)、三浦(39W)
木村一哉(58L)、木村香代子(57W)、二宗光文(46M)

合計7名

今年の梅雨は、暑い日が続いたと思うと今度は雨の日が続くという変則的な状態で、人間や植物にとって対応が厳しい。そんな梅雨もこの日に東海地方の梅雨明けが発表された。発表されたとはいえ、天気は不安定な状態でまだすっきりしない状態。

この日も7人の会員が集まって、早速ビールで乾杯。店はお客でいっぱい注文のビールがなかなか来ず、店の繁盛状況が読み取れる。

6月に工業会総会が高崎で開かれ、当地から清水支部長が参加。ここ数年コロナで開かれてなく久しぶりの会場とオンラインの総会。総会後の懇談会で、大学の先生や工業会本部、他の支部長と直接話して得られた情報や成果を話してくれた。やはり定期的にこのような会の必要性を再認識という意見であった。

皆さんこの気候状況下でも健康には注意して、体力維持のためにも積極的にいろんなことを実施している。自分の趣味を生かし山に登ってのトレーニング、ジムに通う人、コロナで出来なかったプール通いを再開など。



清水さんの作品

最近では話だけでなく、趣味の分野の作品をもって来て、みんなに披露することも増えてきた。今回は清水さんか、名古屋のビル群に沈む夕日の写真を披露した。この位置に沈むのは年に2回しかないという貴重なもの。そしてこの中の一枚を富士フィルムの展覧会に応募したとのこと。こういう形で自分表現を外に出すにことに皆さん拍手。

これから夏本番を迎え、各地でまつりが開催される。

刈谷の万燈祭の話が出た。

愛知県の無形民族文化財に指定されていて「天下の奇祭」として知られている。「万燈」と呼ばれる高さ5m、重さ約60kgの竹と和紙で作られた張り子人形を人が担ぎ、笛や太鼓に合わせてねり歩く。7町内や地元企業の「万燈」でにぎわう。

町内がこの作成ために団結して取り組んでいる。このような様子を見て次のような話に広がった。社(やしろ)に人が会(あうこと、集まること)が「社会」であり、人が会(集まって)で作るのが「会社」である。と言うことになった。酒の勢いもあり、皆さん「なるほど!」と納得したところでお開きにした。

写真はいつもの集合写真ではつまらないので、“楽しい”を表現してと言って撮ったもの。

(文責；二宗)

